

株主の皆様へ



無停止杼換式豊田自動織機（G型）第1号機
2007年8月、社団法人日本機械学会から「機械遺産」に認定されました

連結財務ハイライト

(単位:億円)

	当中間期	前年中間期	増減または増減率
売上高	9,557	9,130	4.7%
営業利益	469	400	17.3%
経常利益	632	534	18.3%
中間純利益	403	302	33.2%
配当金	28円	22円	6円

目次

●	連結財務ハイライト	1
●	株主の皆様へ	2
●	連結業績の概況	3
●	事業別の概況	4
●	環境への取り組み	7
●	連結決算	9
	連結貸借対照表	
	連結損益計算書	
	連結キャッシュ・フロー計算書	10
	連結株主資本等変動計算書	
●	単独決算	11
	貸借対照表	
	損益計算書	12
	株主資本等変動計算書	
●	株式の状況	13
●	会社の概要	14
●	株主メモ	裏表紙

当中間報告書に含まれる業績予想は、現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、経済情勢・為替相場の変動等に関わるリスクや不確実性により、予想と大きく異なる可能性があります。

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より、豊田自動織機ならびに豊田自動織機グループ各社をご支援いただきまして、誠にありがとうございます。

第130期中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当中間期の業績につきましては、自動車部門、産業車両部門とも販売が好調に推移し、売上高・経常利益とも中間期としては過去最高を更新し、8期連続の増収増益を達成することができました。また、通期につきましても、9期連続の増収増益を見込んでおります。

中間配当金につきましては、前期の中間配当金に比べ6円増配の、1株につき28円とさせていただきます。これにより、中間配当金は7期連続の増配となります。今後も、業績・資金需要などを勘案いたしますとともに、連結配当性向も重視し、皆様のご期待におこたえしてまいりたいと存じます。

当社は、基本理念にある「企業活動を通じて住みよい地球と豊かな社会づくりに取り組み、クリーンで安全な優れた品質の商品・サービスをタイムリーにお届けする」という考えのもと、総力をあげた取り組みを進めております。

当中間期には、環境の負荷を大幅に低減させたVD型クリーンディーゼルエンジン(トヨタランドクルーザーの海外向けに搭載)の開発や、トヨタ自動車株式会社から新しいコンセプトで誕生したマークX ジオの新規生産受託など、自動車分野でのトヨタグループにおける役割の拡大をはかってまいりました。

今後も、当社は中期経営計画の達成に向け、グループ一丸となって努力してまいります。業績は、経営の多様な取り組みの結果であると考えます。従いまして、当社としては何よりもまず、モノづくりの原点を見つめ直して会社の足腰を強化し、皆様に喜んでいただける商品を市場に投入し続けることにより、企業価値がますます向上するよう不断的な努力を惜しまぬ決意です。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2007年11月



取締役会長 石川忠司 取締役社長 豊田鐵郎

連結業績の概況

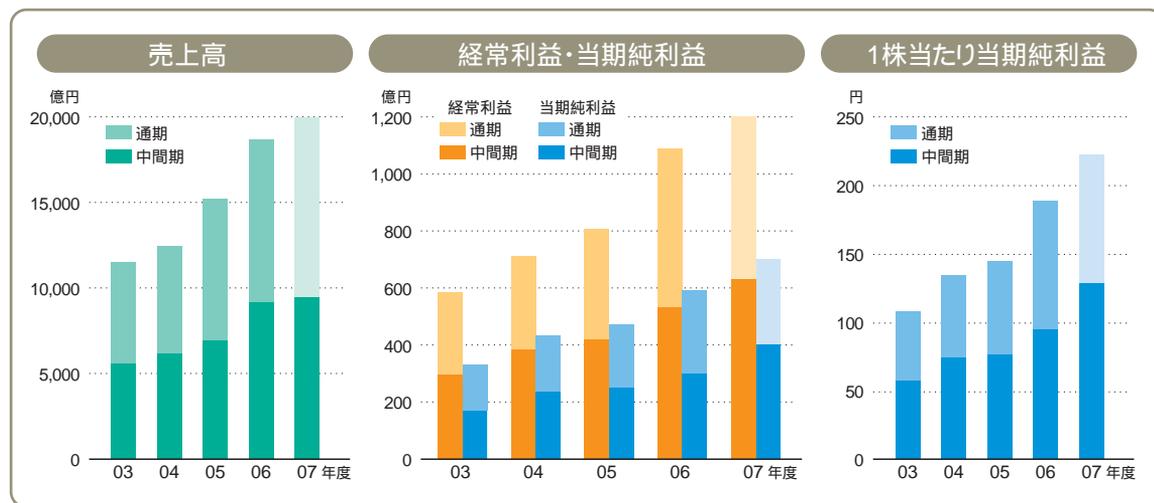
当中間期の日本経済は、企業収益が好調に推移するなかで、民間設備投資は引き続き増加し、雇用情勢の改善により個人消費も持ち直してくるなど、景気は着実に回復してきました。海外では、米国経済に減速感があるものの、欧州経済は底堅く、中国、インドでは高成長を継続するなど、世界経済は総じて堅調に推移してきました。

このような状況のなかで、当中間期の売上高は、前年同期を427億円(5%)上回る9,557億円となりました。

利益については、原材料価格の値上がりや、減価償却費・人件費の増加がありましたものの、国内外での売上げの増加やグループあがての原価改善活動

の推進に加え、為替変動による影響、受取配当金の増加もあり、経常利益は前年同期を98億円(18%)上回る632億円となりました。また、中間純利益は、前年同期を101億円(33%)上回る403億円、1株当たり中間純利益は、前年同期を33円(34%)上回る129円となりました。

通期の業績については、販売台数の増加や前提為替レートの見直しにより、売上高2兆円、営業利益950億円、経常利益1,200億円、当期純利益700億円、1株当たり当期純利益224円を見込んでいます。なお、為替レートは、1USDドル115円、1ユーロ159円を前提としています。



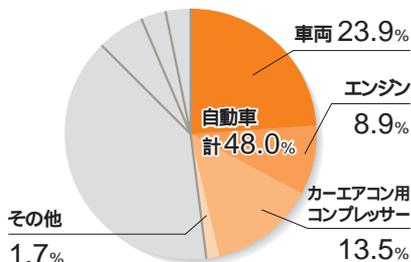
(注)2007年度通期は見込みです。

事業別の概況

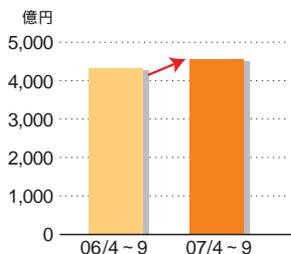


≫ 自動車 Automobile Segment

売上高構成比



売上高



自動車部門では、車両はヴィッツの国内向けが減少しましたが、RAV4が増加したことにより、売上高は、前年同期を59億円(3%)上回る2,282億円となりました。また本年9月には新型車「マークX ジオ」を新たに生産開始しました。エンジンは、IMVシリーズ用KD型ディーゼルエンジンが好調に推移し、売上高は、前年同期を49億円(6%)上回る850億円となりました。カーエアコン用コンプレッサーは、海外向けが増加したことにより、売上高は、前年同期を156億円(14%)上回る1,287億円となりました。これらの結果、自動車部門全体の売上高は、前年同期を279億円(6%)上回る4,589億円となりました。

▶ コンプレッサー北米生産拠点TACG 生産累計100万台達成

可変容量型コンプレッサーの専用工場として2005年12月に生産を開始したTACG (TD Automotive Compressor Georgia, LLC. 米国、ジョージア州)は、2007年4月に生産累計100万台を達成しました。可変容量型コンプレッサーは省燃費に優れており、今後も搭載車種の拡大が期待されます。TACGはグローバルな生産体制の一翼を担うべく、品質・原価・納期のさらなる強化に努めていきます。



ワゴンより贅沢に。
ミニバンより優雅に。
セダンより自由に。



▶ マークX ジオ 生産開始

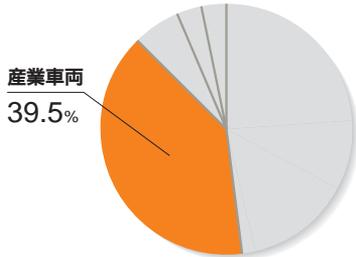
2007年9月、マークX ジオの生産を長草工場(愛知県大府市)で開始しました。新しいコンセプトのもと誕生したクルマ「マークX ジオ」は、当社にとって初のミディアムサイズカーであり、高級車クラスの受託となります。

今後トヨタ自動車株式会社との連携を密に、トヨタグループのボディメーカーとしての役割をしっかりと果たしていきます。



≫ 産業車両 Materials Handling Equipment Segment

売上高構成比



売上高



産業車両部門の売上高は、前年同期を109億円(3%)下回る3,773億円となりましたが、前年同期には子会社の決算期変更による影響が含まれているため、これを除いた比較では517億円(16%)上回りました。フォークリフトトラックについては、販売網の強化・拡充を進め、トヨタブランド・BTブランドとも欧州などの好調な市場に支えられ総販売台数は増加しました。また高所作業車についても、電力・通信業界の堅調な買替え需要に支えられ、好調に推移しました。

◆ ユニット式パレット用自動倉庫「ラックソーターP(1トン系)」を発売

ユニット式パレット用自動倉庫「ラックソーターP」の1トン系モデルを、2007年5月にフルモデルチェンジしました。近年、自動倉庫に対するお客さまのニーズは、これまでの「保管効率アップ」「在庫管理レベルの向上」「省人化」に加えて、故障の未然防止や万が一の故障の際の早期復旧といった「安定稼動」へとレベルが上がっています。今回のフルモデルチェンジでは、こうしたお客さまのご要望におこたえしています。



◆ フォークリフトオペレーター向けの運転講習をスタート

産業車両事業の総合展示施設「トヨタL&Fカスタマーズセンター」(千葉県市川市)では、新たにフォークリフトの運転講習を開講しました。

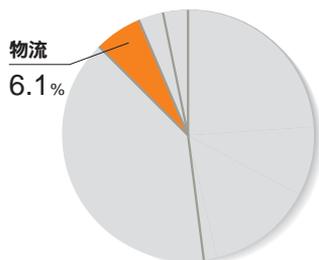
講習を通じて、オペレーターに正しく安全な運転技能を習得していただくことで、お客さまがフォークリフトを使用する際のゼロ災害実現に貢献していきます。



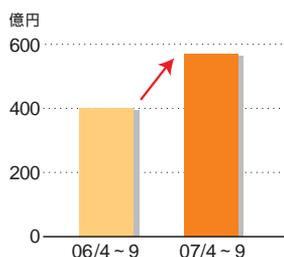
>> 物流 Logistics Segment



売上高構成比



売上高



物流部門では、本年5月に株式会社ワンピシアーカイブズ(情報保管管理・集配サービス)を子会社化したことなどにより、売上高は、前年同期を181億円(45%)上回る579億円となりました。

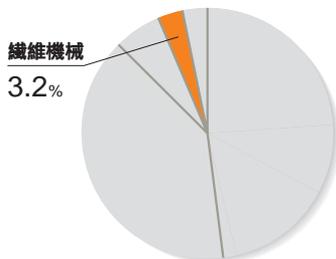
▶ 株式会社ワンピシアーカイブズを100%子会社化

2007年5月、当社が43.1%の株式を保有していた株式会社ワンピシアーカイブズ(情報保管管理・集配サービス)の残りの全株式を取得し、完全子会社化しました。個人情報保護法や電子文書法、金融商品取引法など、情報管理・セキュリティに対する社会的ニーズが高まるなか、今後もお客さまとの相互信頼に基づき、より社会的意義の高いサービスの提供をめざします。

>> 繊維機械 Textile Machinery Segment



売上高構成比



売上高



繊維機械部門では、紡機ならびにエアジェット織機のほか、昨年フルモデルチェンジしたウォータージェット織機が中国向けを中心に増加し、売上高は、前年同期を33億円(12%止回る307億円)となりました。



▶ G型織機が日本機械学会の機械遺産に認定される

無停止杼換(ひかえ)式豊田自動織機(G型)第1号機が、社団法人日本機械学会の機械遺産に認定されました。この「機械遺産」は、歴史に残る機械技術関連遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝えることを目的とするものです。G型織機1号機は産業技術記念館(愛知県名古屋市)に展示されています。



環境への取り組み

当社では、5ヵ年計画の「環境取り組みプラン」を策定し、環境経営を推進しています。2006年度から取り組んでいる「第四次環境取り組みプラン」(2006～2010年度)では、当社グループ全体を対象とし、「地球温暖化防止」「資源生産性の向上」「環境リスクへの対応」「連結マネジメント」を重要課題と位置づけ、取り組みプランの達成に努めています。

≫環境にやさしい生産活動

エコファクトリー活動

エコファクトリー活動とは、用地の取得から始まり、工場建屋の建設・生産ラインの設置まで、すべてにおいて環境配慮を徹底していくものです。当社はエコファクトリーの社内基準をもとに、国内外を問わず、すべての工場のエコファクトリー化を進めています。



東浦工場(愛知県知多郡)では、生産ラインの消費電力を、従来の工場と比較して20%削減することを目標に、風力発電、太陽光発電、コ・ジェネレーションシステム、氷蓄熱空調熱源システムなど、クリーンエネルギーシステムや省エネルギーシステムを積極的に採用しています。

枝や葉もリサイクル

当社は、工場敷地内樹木の剪定した枝や葉を、愛知県知多郡にある当社敷地内で乾燥・チップ化し、再び工場樹木の堆肥としてリサイクルしています。各工場の樹木の育成などに利用するほか、地域住民の方々にも無料配布しています。



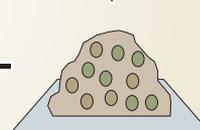
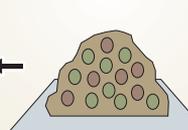
〔剪定枝の堆肥化フロー〕



当社各工場の樹木の剪定・刈込み

愛知県知多郡の当社敷地へ剪定枝を運搬

剪定枝を破砕機でチップ化



再び堆肥を工場内へ

半年間熟成し堆肥化

細かくしたチップを山積みにして発酵

≫ 環境にやさしい商品

VD型クリーンディーゼルエンジンの開発と生産

2007年9月フルモデルチェンジしたトヨタランドクルーザーに、当社が開発を受託し、生産を開始したVD型クリーンディーゼルエンジンの搭載が始まりました(海外向け)。このエンジンは、「King of 4WD」のコンセプトで誕生した新型ランドクルーザーにふさわしいトヨタ初 4.5L V型8気筒 クリーンディーゼルエンジンで、環境面でも従来に比べ負荷を大きく低減しています。

こだわりのオーナーを唸らせるディーゼルエンジンを世界へ

「King of 4WD」にふさわしい トヨタ初 4.5L V8 クリーンディーゼルエンジン



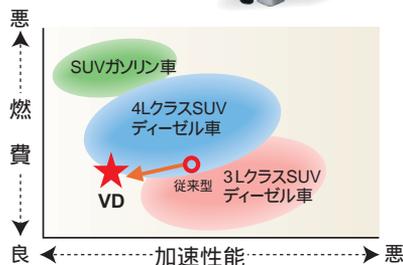
動力性能と
燃費の両立

4LクラスSUVでトップクラスの動力性能と
3LクラスSUV並の燃費

トルク 50%向上

0-100km/h到達時間 30%向上

燃費 4.3%向上

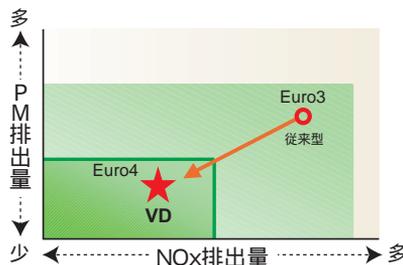


排ガスの
クリーン化

最新の規制をクリアした
クリーン性能

Euro4規制のクリア

NOx、PM 排出量50%低減



Euro4: 欧州の自動車ガス排出ガス規制 NOx: 窒素酸化物 PM: 粒子状物質

静粛性

競合他社の中で
トップレベルの静粛性

オフロード車用
エンジンとしての
信頼性

どんな環境下でも走行可能な
揺るぎない信頼性

連結決算

【連結貸借対照表】

(百万円未満切り捨て)

科目	当中間期末	前期末
	2007年9月30日現在	2007年3月31日現在
資産の部		
流動資産	600,531	568,001
現金及び預金	127,024	110,516
受取手形及び売掛金	230,795	234,611
有価証券	40,145	30,065
たな卸資産	129,103	120,737
その他	73,463	72,070
固定資産	2,956,294	3,017,856
有形固定資産	629,694	605,922
建物及び構築物	186,782	171,897
機械装置及び運搬具	274,659	269,769
その他	168,251	164,255
無形固定資産	160,756	112,816
投資その他の資産	2,165,843	2,299,117
投資有価証券	2,081,174	2,226,575
その他	84,669	72,542
合計	3,556,826	3,585,857

科目	当中間期末	前期末
	2007年9月30日現在	2007年3月31日現在
負債の部		
流動負債	582,557	558,405
支払手形及び買掛金	198,984	205,168
短期借入金	52,226	37,103
コマーシャル・ペーパー	34,573	33,760
1年以内償還の社債	80,000	60,000
その他	216,772	222,373
固定負債	1,196,722	1,216,969
社債	231,422	250,761
長期借入金	188,238	141,567
繰延税金負債	701,370	751,764
退職給付引当金	46,932	45,482
その他	28,758	27,393
負債計	1,779,280	1,775,374
純資産の部		
株主資本	573,503	540,696
資本金	80,462	80,462
資本剰余金	104,987	105,055
利益剰余金	433,730	402,431
自己株式	45,677	47,253
評価・換算差額等	1,144,212	1,210,704
その他有価証券評価差額金	1,082,846	1,157,793
繰延ヘッジ損益	9	0
為替換算調整勘定	61,375	52,912
新株予約権	402	202
少数株主持分	59,427	58,878
純資産計	1,777,545	1,810,483
合計	3,556,826	3,585,857

【連結損益計算書】

(百万円未満切り捨て)

科 目	当中間期	前年中間期
	2007年4月 1日から 2007年9月30日まで	2006年4月 1日から 2006年9月30日まで
売上高	955,760	913,085
売上原価	800,912	770,487
販売費及び一般管理費	107,887	102,546
営業利益	46,960	40,051
営業外収益	31,394	28,968
受取利息及び受取配当金	25,604	22,893
その他	5,790	6,074
営業外費用	15,094	15,537
支払利息	9,772	9,942
その他	5,321	5,595
経常利益	63,260	53,482
特別利益	5,863	
税金等調整前中間純利益	69,124	53,482
法人税、住民税及び事業税	24,112	20,661
法人税等調整額	842	331
少数株主利益	3,859	2,883
中間純利益	40,309	30,268

【連結キャッシュ・フロー計算書】

(百万円未満切り捨て)

科 目	当中間期	前年中間期
	2007年4月 1日から 2007年9月30日まで	2006年4月 1日から 2006年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	86,895	84,897
投資活動による キャッシュ・フロー	103,309	97,411
財務活動による キャッシュ・フロー	42,449	18,435
現金及び現金同等物に 係る換算差額	265	1,042
現金及び現金同等物の 増減額	26,301	29,906
現金及び現金同等物の 期首残高	108,569	112,596
現金及び現金同等物の 中間期末残高	134,870	82,689

【連結株主資本等変動計算書】

(2007年4月1日～2007年9月30日)

(百万円未満切り捨て)

	株主資本					評価・換算差額等				新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
2007年3月31日残高	80,462	105,055	402,431	47,253	540,696	1,157,793	0	52,912	1,210,704	202	58,878	1,810,483
当中間期中の変動額												
剰余金の配当			8,738		8,738							8,738
子会社等の増減に 伴う変動額			272		272							272
中間純利益			40,309		40,309							40,309
自己株式の取得				41	41							41
自己株式の処分		67		1,617	1,550							1,550
株主資本以外の項目の 当中間期中の変動額(純額)						74,946	8	8,462	66,492	199	548	65,744
当中間期中の変動額合計		67	31,298	1,575	32,807	74,946	8	8,462	66,492	199	548	32,937
2007年9月30日残高	80,462	104,987	433,730	45,677	573,503	1,082,846	9	61,375	1,144,212	402	59,427	1,777,545

単独決算

【貸借対照表】

(百万円未満切り捨て)

科目	当中間期末 2007年9月30日現在	前期末 2007年3月31日現在
資産の部		
流動資産	284,623	266,151
現金及び預金	54,553	43,793
受取手形及び売掛金	108,332	110,844
有価証券	40,135	30,065
たな卸資産	34,771	31,646
その他	46,831	49,801
固定資産	2,694,321	2,781,910
有形固定資産	329,146	330,924
建物及び構築物	102,558	95,364
機械装置及び運搬具	136,795	138,276
その他	89,792	97,284
無形固定資産	6,567	7,689
投資その他の資産	2,358,606	2,443,296
投資有価証券	686,025	655,177
関係会社株式	1,623,835	1,740,727
その他	48,746	47,391
合 計	2,978,944	3,048,062

科目	当中間期末 2007年9月30日現在	前期末 2007年3月31日現在
負債の部		
流動負債	313,435	298,409
支払手形及び買掛金	131,433	137,810
1年以内償還の社債	80,000	60,000
その他	102,002	100,598
固定負債	1,078,330	1,112,632
社債	204,990	224,990
長期借入金	150,000	115,000
繰延税金負債	699,628	749,517
退職給付引当金	22,193	21,632
その他	1,517	1,491
負債計	1,391,765	1,411,041
純資産の部		
株主資本	505,154	480,375
資本金	80,462	80,462
資本剰余金	104,966	105,033
利益剰余金	365,403	342,132
自己株式	45,677	47,253
評価・換算差額等	1,081,621	1,156,441
その他有価証券評価差額金	1,081,633	1,156,445
繰延ヘッジ損益	12	3
新株予約権	402	202
純資産計	1,587,178	1,637,020
合 計	2,978,944	3,048,062

【損益計算書】

(百万円未満切り捨て)

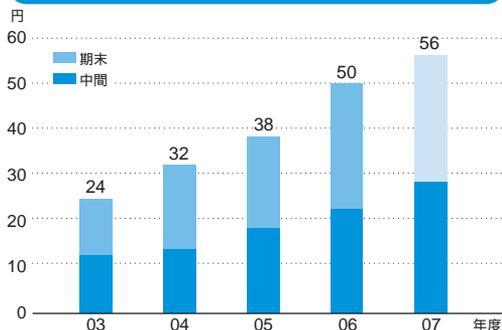
科目	当中間期	前年中間期
	2007年4月1日から 2007年9月30日まで	2006年4月1日から 2006年9月30日まで
売上高	574,924	540,061
売上原価	516,778	490,716
販売費及び一般管理費	33,490	32,487
営業利益	24,655	16,857
営業外収益	21,924	18,928
受取利息及び受取配当金	20,319	15,814
その他	1,604	3,113
営業外費用	5,654	6,483
支払利息	3,268	2,784
その他	2,385	3,698
経常利益	40,925	29,301
特別利益	5,863	
税引前中間純利益	46,788	29,301
法人税、住民税及び事業税	13,525	8,543
法人税等調整額	1,254	239
中間純利益	32,008	20,519

中間配当について

2007年10月31日開催の当社取締役会決議により、2007年9月30日の最終の株主名簿および実質株主名簿に記載もしくは記録された株主または登録株主質権者に対し、次のとおり中間配当金をお支払いします。

中間配当金	1株につき28円
効力発生日ならびに支払開始日	2007年11月26日

1株当たり配当金



(注) 2007年度期末は見込みです。

【株主資本等変動計算書】

(2007年4月1日～2007年9月30日)

(百万円未満切り捨て)

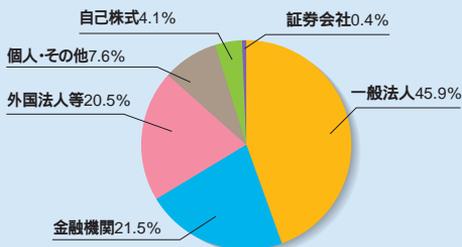
	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等			新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計		
2007年3月31日残高	80,462	105,033	342,132	47,253	480,375	1,156,445	3	1,156,441	202	1,637,020
当中間期中の変動額										
剰余金の配当			8,738		8,738					8,738
中間純利益			32,008		32,008					32,008
自己株式の取得				41	41					41
自己株式の処分		67		1,617	1,550					1,550
株主資本以外の項目の 当中間期中の変動額(純額)						74,811	8	74,819	199	74,620
当中間期中の変動額合計		67	23,270	1,575	24,779	74,811	8	74,819	199	49,841
2007年9月30日残高	80,462	104,966	365,403	45,677	505,154	1,081,633	12	1,081,621	402	1,587,178

株式の状況

(2007年9月30日現在)

発行可能株式総数…………… 1,100,000,000株
 発行済株式総数…………… 325,840,640株
 株主数…………… 20,556名

所有者別株式分布状況



【大株主の状況】

株主名	持株数 (千株)
トヨタ自動車株式会社	76,600
株式会社デンソー	29,647
サード アベニュー バリュウ ファンド カストディアルトラスト カンパニー	15,737
東和不動産株式会社	15,697
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 信託口	10,849
豊田通商株式会社	8,289
日本生命保険相互会社	6,735
アイシン精機株式会社	6,578
三井住友海上火災保険株式会社	5,345
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 信託口	5,165

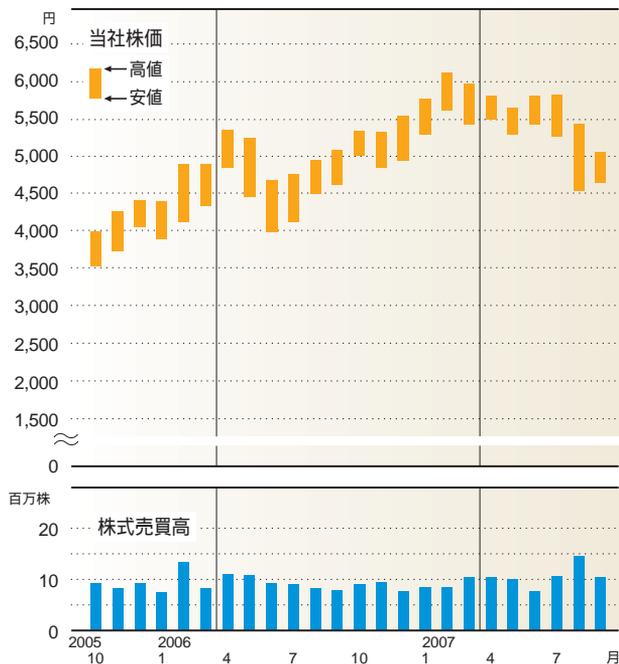
(注)上記のほか、当社が所有している自己株式13,301千株があります。

株主総会後、高浜工場見学会を開催

2007年6月の株主総会后、ご希望の株主様を対象に高浜工場見学会を開催しました。高浜工場は世界最大の産業車両専門工場で、溶接・塗装から組立までの一貫生産を行っています。モノづくりの現場を見学いただくことにより、当社への理解をより一層深めていただきました。



【株価の推移】



会社の概要

(2007年9月30日現在)

設立	1926年11月18日
資本金	804億円
従業員数	連結38,650名、単独11,718名
本社所在地	〒448-8671 愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地 TEL(0566)22-2511(代表)
工場・事務所 (生産品目)	刈谷工場(繊維機械、カーエアコン用コンプレッサー) 大府工場(カーエアコン用コンプレッサー部品、ダイカスト品) 共和工場(電子機器、自動車用プレス型、エンジン部品) 長草工場(車両) 高浜工場(産業車両、物流システム機器) 碧南工場(自動車用・産業車両用エンジン) 東知多工場(鋳造品、自動車用エンジン) 東浦工場(カーエアコン用コンプレッサー部品) 石浜事業所(エンジン部品) 森岡事業所(自動車部品) 東京支社、名古屋支社、大阪事務所 トヨタ L&F カスタマーセンター ほか

連結子会社 165社

持分法適用会社 17社

取締役

取締役会長	石川 忠司	専務取締役	豊田 康晴
取締役社長	豊田 鐵郎	専務取締役	室 殿 豊
取締役副社長	佐藤 則夫	専務取締役	吉田 和憲
取締役副社長	水野 義勝	専務取締役	山田 耕作
取締役副社長	松浦 達郎	専務取締役	関森 俊幸
取締役副社長	伊村 晟	専務取締役	三矢 金平
専務取締役	吉田 成毅	取締役名誉会長	豊田 芳年
専務取締役	加藤 正文	取 締 役	豊田 達郎

監査役

常勤監査役	御友 重孝	監 査 役	奥田 碩
常勤監査役	伊藤 正宣	監 査 役	川口 文夫
		監 査 役	渡辺 捷昭

常務役員

河野 博哉	小川 隆希	PerZaunders	池田 勇人
竹中 健二	佐々木 一衛	古田 英志	大西 敏文
加勢 田 聡	森下 洋司	馬場 理好	野崎 晃平
酒井 博史	古川 真也	大久保 孝司	三浦 治
辻 博文	伊藤 日藝	佐々木 憲夫	山本 卓
山北 幸男	大西 朗	小河 俊文	土本 幸久

▶ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 本店・全国各支店
定時株主總會	6月		
配当金支払株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施するときは9月30日		
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同取扱事務所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		
同送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		

株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも承っております。

電話(通話料無料) 0120-232-711 (お問合せ)
0120-244-479 (各種お手続き用紙のご請求)

ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、証券保管振替機構(ほふり)に預託されました株券についての諸届および手続等に関するお問合せは、お取引先の証券会社へお願いいたします。

株券電子化についてのご案内

上場会社の株券は、2009年1月に一斉に電子化される予定です。

これにより、現在発行されている株券は無効となりますが、株主の権利は電子的に証券会社等の金融機関の口座で管理されます。詳細は同封のリーフレットをご参照ください。

- 株券がご本人名義になっていない場合は、名義書換のお手続きが必要となります。
- 株券を喪失された場合は、喪失の届出および再発行のお手続きが必要となります。

当社株式に関するお手続きにつきましては、当社株主名簿管理人の三菱UFJ信託銀行までお問合せください。



株式会社 豊田自動織機

愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地 〒448-8671
TEL(0566)22-2511(代表) FAX(0566)27-5650
ホームページ <http://www.toyota-shokki.co.jp/>

